

## 「不要」と「不急」の違い ～新たな一歩を共に～

新型コロナウイルス感染症が5類となり、様々なことに活発にチャレンジできる機会が戻ってきた令和5年度も、もうすぐ終わろうとしています。今まで自粛してきたものを、改めて「仕掛ける」ことのできた一年でした。

そんな今だからこそ、改めて考えたいことがあります。それは、「不要・不急」という言葉です。「連携・協働」や、「安全・安心」等は、二つの言葉の意味につながりがあるので、並べて使われるのは自然だと思います。それに対し、「不要・不急」という表現も対応も、コロナ禍における緊急対応としてはやむを得なかったと思いますが、本来は意味がまるで違う言葉が並べられています。

社会教育活動は「あせらず、長い時間をかけてつないでいくもの」なので、慌てなくても良い「不急」なものとしてコロナ禍では控えられてきましたが、「不要」ではありません。コロナ禍で「地域づくり・人づくり等の取り組みをカットしても、特に大きな影響は感じなかった」という声が聞かれることもありますが、それは、長い年月をかけて培われてきた地域コミュニティの財産、人間関係、信頼関係の「貯金」があったからです。その「貯金」を使い果たした時に、どんな世の中になるのか、その中で子どもたちはどう育まれていくのかを想像してみる必要があります。単にコロナ禍前に戻すということではなく、地域づくりにとって何が大切なのか、「目的」を再確認し、「不要か不急か」を見定め、「新たな一歩」を共に踏み出すことの大切さを考える日々です。

令和6年度の庄内教育事務所社会教育課のテーマ「咲きほこれ 未来へつづく 笑顔の花～みんなでつなげる・みんながつながる地域づくり～」へ向かって、「共に一歩前へ」皆様と歩んでいきたいと、新年度に向け思いを強めています。

社会教育課長 大川 岳二

### 次世代の地域づくり中核人材育成事業

## 小中学生に伝えよう！三川町の若者団体の活躍

本事業の第2弾を進めるにあたり、三川町中高生ボランティアサークル「来夢来人」の皆さんと青年ファシリテーターが企画会議を開きました。若者の地域貢献への意識を高めていきたいという意見が出され、「三川町で活躍する若者の取り組みを、小・中学生に伝えていく」ことに決定しました。

その思いを実現するために「『VOLO! (ウォロ)』を作る会」を立ち上げ、来夢来人と若者が組織する三川町の団体が協力して、若者の活躍を発信する冊子を作成しました。冊子の内容は、手に取った人が読みたくなるように工夫されていて、中高生たちの「伝えたい」という思いを感じました。冊子は、三川町の小中学校に配布し、三川中学校には、来夢来人の高校生が訪問し、冊子の紹介を行います。

今年度の活動を通して、中高生たちは自分たちで企画・運営していくことの楽しさを実感していました。今後も三川町をさらに盛り上げ、三川町の将来を担う人材に育ってくれることを期待しています。（担当：櫻井）



## 令和5年度 社会教育・社会体育 表彰

### ☆社会教育関係

- 【社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)】
- 【全国社会教育委員連合表彰】
- 土門 京氏(遊佐町)
- 【東北地区社会教育委員連絡協議会表彰】
- 成田 勇氏(鶴岡市)
- 【県社会教育連絡協議会表彰「社会教育関係職員・社会教育委員表彰」】
- 川村 昭三氏(庄内町) 服部 正規氏(遊佐町)
- 【視聴覚教育・情報教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)】
- 後藤 弘実氏(遊佐町)
- 【優良PTA山形県教育委員会表彰】
- 鶴岡市立大山小学校PTA (鶴岡市)
- 鶴岡市立鼠ヶ関小学校PTA (鶴岡市)
- 【優良PTA文部科学大臣表彰】
- 鶴岡市立大山小学校PTA (鶴岡市)
- 【子どもの読書活動優秀実践図書館表彰(文部科学大臣表彰)】
- 鶴岡市立図書館 (鶴岡市)



### ☆社会体育関係

- 【全国スポーツ推進委員連合 功労者表彰】
- 佐藤 重昭氏(遊佐町)
- 【全国スポーツ推進委員連合 30年勤続表彰】
- 鎌田 博子氏(鶴岡市)
- 【東北地区スポーツ推進委員協議会 功労者表彰】
- 高橋 澄子氏(酒田市) 村上 千春氏(酒田市)
- 菅井 浩之氏(酒田市)
- 【山形県スポーツ推進委員協議会表彰】
- 佐藤 隆芳氏(鶴岡市) 伊藤 工幸氏(酒田市)
- 土門 大勇氏(遊佐町) 遠田佳奈子氏(遊佐町)
- 【庄内地区スポーツ推進委員協議会 功労者表彰】
- 佐藤 弥生氏(鶴岡市) 小林 俊樹氏(庄内町)
- 佐藤 慶氏(遊佐町)
- 【山形県スポーツ賞(山形県地域スポーツ振興賞)】
- デポルターレ豊浦(鶴岡市)
- 【日本スポーツ少年団顕彰 登録者表彰】
- 大内 新作氏(鶴岡市) 齋藤 勉氏(酒田市)
- 【山形県スポーツ少年団表彰 功労者表彰】
- 梅津 孝夫氏(鶴岡市) 三村 健二氏(鶴岡市)



### 第72回山形県自作視聴覚教材コンクール

## 山形の魅力を視聴覚教材で伝え、広げていく！

標記コンクールに、全県で学校教育部門 6 作品(庄内2)、社会教育部門 20 作品(庄内3)、児童生徒部門 8 作品(庄内2)の出品がありました。審査の結果、各賞の受賞者が決定しました。2月10日(土)に遊学館で表彰式と、各部門の最優秀作品の発表会を行いました。庄内地区の受賞作品を紹介します。(担当：櫻井)

#### 【学校教育部門】

- 最優秀賞 「鶴岡と戦争 東京大空襲と鶴岡の空襲—松田二郎さんの体験—」  
地元の戦争体験者の証言を記録する会  
(代表:阿部 博行さん)制作:小田 悟志さん
- 優秀賞 「日向川サケ物語」西荒瀬コミュニティ振興会

#### 【社会教育部門】

- 入選 「河童が語る、中学生ともぐり橋」中村 淑子さん
- 入選 「荒野の庄内を水田に 北館大学公」  
庄内町風車村エコランド実行委員会 実行委員長 柿崎 寿一さん
- 入選 「海に建つ風車」素晴らしい遊佐町を心から愛する会  
文 後藤 弘実さん 絵 高橋可奈絵さん

#### 【児童生徒作品部門】

- 最優秀賞 「酒井家入部401年 最上義光と庄内藩～酒井家庄内入部の秘密～」  
鶴岡市立朝陽第二小学校 加賀 礼大さん
- 優秀賞 「鶴岡銀座商店街がおもしろい！」鶴岡市立鶴岡第一中学校 伊藤 千陽さん



庄内教育事務所 社会教育課  
【公式】Instagram  
各種研修会、事業等の情報をお届けします！



庄内地区社会教育情報  
ホームページはこちら！➡

